

ベイ・ブリッジを渡って約20分、美しい環境、理想の学園都市 日比谷公園の18倍もあるカリフォルニア大学

美しい2階建ての橋、ベイ・ブリッジを渡り、オークランドを過ぎると、そこは hippie が生まれ育ち、1960年代の終りから'70年にかけてフリースピーチ・ムーブメントで学生運動が盛りあがっていた、あの理想の学園都市パークレー。映画「いちご白書」で当時のカレッジ・ライフが詳しく紹介されている。



↑ダイエットにいい？

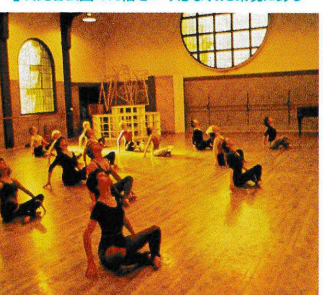
たけれど、今、パークレーは「ゲット・バック・トゥ・キャンパス」いつの間にか学生たちはみんなオトナになり、勉強のよくできるいい子ちゃんばかりのカレッジになってしまった。もっともこのパークレー、知的水準はものすごく高



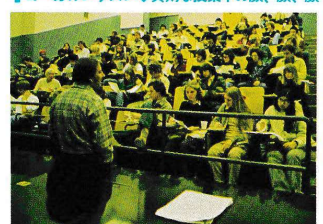
↑自転車通学の学生が多いのもこの学校の特徴



↑日比谷公園の18倍という恵まれた環境にある



↑ヨガのレッスン↑真剣な授業中の顔、顔、顔



くて、だれもが簡単に入学できるというわけではなく、ハイスクールの成績がクラスで10番以内でないと入学できないのだ。カリフォルニア州立大学なので州外の学生はもっときつ、クラスの5番以内の成績でないと、パークレーの門は潜れない。そのためか

知的活動、芸術活動はさすかに盛んで、ノーベル・プライスを受けた卒業生がなんと10人を越えているのだから。おなじみUCLAはここCALの分校、弟分なのだよ。



乗る人の使い勝手を優先したバイクオリティ・カー

コンパクトなボディの割に大きい

ミラーズのドア

ルーフレールが高い位置についている。ミラーズのドアし、ドアの前端がタイヤハウスのすぐ近くから始まっているので、無理な姿勢をとらなくても楽でスムーズな乗降ができる。



↑数年前まで激しい学生運動をしていたパークレーが、そのままアメリカン・フットボールに向けられている



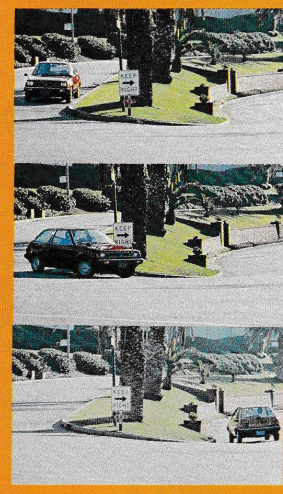
NAPAはサンフランシスコから北へ50マイル アメリカのWine Country



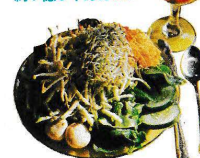
↑ぶどう並木がどこまでも続いているナパ・バレー

ミラーズの安定したコーナリングを見てくれ！

ミラーズはFF車、つまりエンジンの回転もハンドルの回転も共に前輪であることによる絶対的な方向安定性、直進安定性を誇っているのだ。



↑ミラーズの生産量は約1億6千万ガロン



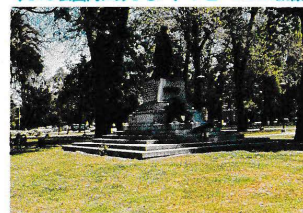
サンフランシスコのダウンタウンから101号線へ入りゴールデン・ゲート・ブリッジを渡って

約20マイル程北へ進む「NAPA」のサインが見えてくる。ここで進路を右にとり37号線から121号線、29号線を北に向かっ

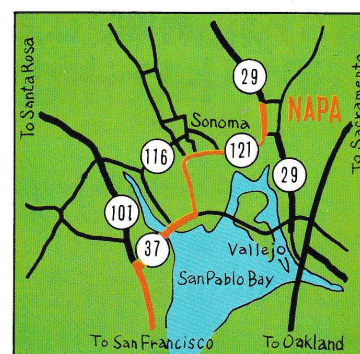
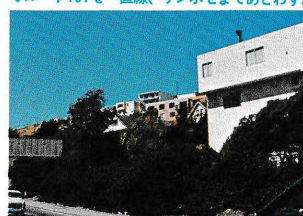
サンフランシスコを後に一路ロサンゼルスへ サンホセは最初の補給地だ

つい1時間程前までは見通しが悪く危険なサンフランシスコの街にいたとは思えないくらい、フラットで運転の楽なフリーウェイ101を南へ下りる。ミラーズの静かなエンジン、安定感のある走りっぷりに並んで走る大型トラックのドライバーが自分の運転そっちのけでミラーズを見つめている。あつというまに最初の補給地である、サンホセに着いた。

↑S.J公園内にあるセント・ジェームスの銅像だ



↑ルート101を一直線、サンホセまであとわずか



で5.6マイル、左右に山並みが迫り前方も山また山、幅5マイル、長さ35マイル、その真ん中をハイウェイが1本……。ハイウェイの両側は山のふもとまで、一面のぶどう畑、ここがアメリカを代表するワイナリー、カリフォルニアワインのメッカとして知られているナパ・バレーだ。

↑長距離ドライブでた低燃費走行のスーパー



難しい並列駐車も軽いステアリングの操作で楽々

「F車はステアリングが重くて」という人にぜひ試してもらいたい、軽くてシャープなラック&ピニオン・ステアリングのミラーズ。

